

早稲田大学大学院法務研究科特別講演会 「裁判の役割と裁判官の 在り方について」

講師：竹崎博允 前最高裁判所長官

2016年度より早稲田大学大学院法務研究科では「任官支援コース」、「グローバル・ビジネス・コース」、「ソーシャル・イノベーター・コース」の3つのコースを設置します。

今回は「任官支援コース」にスポットを当て、裁判の役割、裁判官任官を志向するにあたり心掛けるべきことや裁判官のあるべき姿について、竹崎博允前最高裁判所長官にご講演いただきます。

本講演会は「法科大学院公的支援見直し強化・加算プログラム」として早稲田大学大学院法務研究科が取り組んでいる「『挑戦する法曹』育成・特別コースの設置」に関わる活動の一環として開催されます。

講師略歴

東京大学卒業後、69年判事補に任官し、79年、東京地裁判事に。その後、最高裁経理局長、事務総長、名古屋高裁長官、東京高裁長官を歴任。最高裁事務総長時代に裁判員制度の実施準備から施行後の検証に関与し、2008年11月-2014年3月最高裁判所長官を務める。

日時：2016年4月27日(水) 15:00～16:30(開場14:30)

会場：早稲田大学 小野記念講堂(早稲田キャンパス27号館地下2階)

対象：大学院法務研究科学生、法科大学院進学を検討している方など

申込みは不要です。直接会場にお越しください。入場無料。

お問い合わせ：早稲田大学大学院法務研究科事務所

TEL:03-5286-1678

E-mail:law-school@list.waseda.jp <http://www.waseda.jp/foLaw/gwls/>